

● タイムスケジュール

A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
弥生講堂	1号館 8番	2号館 化学第3	セイホクギャラリー
11時00分 学術評議員会 11時45分			
	11時50分 特別講演1 BS-1 (ランチョンセミナー) 樽林 陽一 先生 座長：尾崎 博 12時25分		談話室
休憩			
12時40分 閉会の辞(尾崎博) 特別講演2-4 AS-2~4 眞鍋 淳 先生 吉川 泰弘 先生 杉山 篤 先生 座長：尾崎 博 樽林 陽一 14時30分			
休憩			
14時40分 A1-1~7 (YIA) (循環・呼吸・泌尿器) 座長：石川 智久 小林 恒雄 中谷 晴昭 16時04分	14時40分 B1-1~8 (YIA) (神経) 座長：伊藤 芳久 中木 敏夫 成田 年 16時16分	14時40分 C1-1~7 (YIA) (内分泌・その他) 座長：鈴木 勉 立川 英一 三澤 日出巳 16時04分	
休憩	休憩	休憩	
16時20分 A2-1~10 (一般) (心・血管・血液) 座長：杉山 篤 田中 芳夫 18時00分	16時30分 B2-1~4 (一般) (神経) 座長：阿部 和穂 石井 邦雄 17時10分 17時15分 B3-1~4 (一般) (病態・その他) 座長：上野 光一 櫻井 裕之 17時55分	16時20分 C2-1~4 (一般) (細胞・幹細胞) 座長：呉林 なごみ 渡辺 康裕 17時00分 17時05分 C3-1~5 (一般) (筋細胞 ・線維芽細胞) 座長：斉藤 真也 野部 浩司 17時55分	
閉会の辞(尾崎博)	(D会場へ移動→)		(18時15分頃から) One coin ドリンク交流会 (YIA表彰式) 19時頃

なぜ新薬は生まれにくくなったのか

—比較生物学の観点からトランスレーショナルリサーチを考える—

特別講演1 B会場（ランチョンセミナー） 11時50分—12時25分

座長：尾崎 博

BS-1 医薬品の研究開発における失敗要因

—Phase 2 attrition の分析を中心にして—

樽林 陽一

神戸大学大学院 医学研究科 統合創薬科学分野 教授・分野長、
連携創造本部 副本部長

特別講演2—4 A会場 12時45分—14時30分

座長：尾崎 博・樽林 陽一

AS-2 薬理試験・安全性試験における比較生物学

眞鍋 淳

第一三共株式会社 執行役員、 プロジェクト推進部

AS-3 「サル類の立場から」

吉川 泰弘

北里大学 獣医学部 教授、 東京大学名誉教授

AS-4 循環薬理における動物からヒトへの外挿

：薬物性 QT 延長症候群モデルおよび慢性持続性心房細動モデル

杉山 篤

東邦大学 医学部 薬理学講座 教授

< A 会場 > Young Investigator's Award (YIA) 対象演題、一般演題

A1-1~7: YIA (循環器系・呼吸器系・泌尿器系) 14時40分—16時04分

座長 石川 智久 (静岡県立大学 薬学部 薬理学)

小林 恒雄 (星薬科大学 医薬品化学研究所 機能形態)

中谷 晴昭 (千葉大学大学院 医学研究院 薬理学)

- A1-1 糖尿病性腎障害による低活動膀胱治療薬の AChE 阻害作用の増強
○須山 由佳子¹、伊藤 由彦¹、原田 丈嗣^{1,2}、及川 寿浩²、
佐藤 啓生²、岡 秀暢²、宮内 洋²、長田 博之²、山田 静雄¹
¹静岡県立大学・薬学部・薬物動態学分野、²鳥居薬品 (株)
- A1-2 テレメトリー法を用いた無麻酔・無拘束ラットの排尿機能に対する
イミダフェナシンの薬理作用の検討
○小島 望、伊藤 由彦、藏岡 史織、山田 静雄
静岡県立大学・薬学部・薬物動態学分野
- A1-3 ラット膀胱上皮におけるムスカリン性受容体および ATP 受容体の
薬理学特性と膀胱炎症モデルにおける変動
○湊端 勇佑、大古田 真輝、伊藤 由彦、山田 静雄
静岡県立大学・薬学部・薬物動態学分野
- A1-4 気道の薬理学的研究 (第 350 報): Angiotensin II 誘発気道過敏性に
おける p42/44 ERK および Src kinase の関与
○西村 綾子、西澤 裕子、千葉 義彦、三澤 美和、成田 年、酒井 寛泰
星薬科大学・薬理学
- A1-5 マウス polyinosinic-polycytidylic acid 誘発気道炎症に対する theophylline
の効果
○木村 元気¹、上田 敬太郎¹、江藤 翔一¹、Kazuhiro Ito²、Peter J. Barnes²、
木澤 靖夫¹、草間 貞¹
¹日本大学・薬学部・機能形態、²Airway Disease Sec., NHLI, Imperial
Coll., UK

A1-6 拡張型心筋症モデルマウスにおける心不全の運動による評価
○杉原 匡美^{1,2}、鈴木 剛^{1,2}、小田切 史徳^{1,2}、中里 祐二²、
代田 浩之²、櫻井 隆¹、森本 幸生³、呉林 なごみ¹
¹順天堂大学・医学部・薬理学、²順天堂大学・医学部・循環器内科学、
³九州大学大学院・医学研究院・臨床薬理学

A1-7 2型糖尿病時における細胞外 nucleotide 誘発収縮反応に対する
losartan の効果
○石田 恵子、松本 貴之、田口 久美子、小林 恒雄、鎌田 勝雄
星薬科大学・医薬品化学研究所・機能形態

A2-1～10：一般演題（心・血管・血液） 16時20分—18時00分

座長 杉山 篤（東邦大学 医学部 薬理学）

田中 芳夫（東邦大学 薬学部 薬理学）

A2-1 Oseltamivir の電気薬理学的作用:ハロセン麻酔イヌモデルでの評価
○北原 健^{1,2}、中村 裕二¹、赤羽 悟美¹、山崎 純一²、杉山 篤¹
¹東邦大学・医学部・薬理学、²東邦大学・医療センター大森病院・
循環器内科

A2-2 Oseltamivir および *d*-sotalol hydrochloride の催不整脈作用 —慢性完全
房室ブロック犬を用いての評価—
○中村 裕二¹、北原 健^{1,2}、赤羽 悟美¹、杉山 篤¹
¹東邦大学・医学部・薬理学 ²東邦大学・医療センター大森病院・
循環器内科

A2-3 不全心室筋細胞の T 管 L 型 Ca²⁺チャネル活性低下への慢性的β₂
アドナリン受容体刺激の関与
○柏原 俊英¹、中田 勉¹、生 暁娜²、柴崎 利英¹、弘瀬 雅教³、
山田 充彦¹
¹信州大学・医学部・分子薬理学、²代謝制御学、³岩手医科大学・
薬学部・分子細胞薬理学

A2-4 ハロセン麻酔モルモットモデルにおけるジフェンヒドラミンおよび
クロペラスチンの心臓電気薬理学的作用
○藤原 香織¹、岡 貴之²、大槻 篤史²、行方 衣由紀²、田中 光²、

高原 章¹

東邦大学・薬学部・¹薬物治療学、²薬物学

- A2-5 Characterization of human induced pluripotent stem cell-derived cardiomyocytes
○李 敏^{1,2}、黒川 洵子¹、諫田 泰成²、関野 祐子²、古川 哲史¹
¹東京医科歯科大学・難治疾患研究所・生体情報薬理学分野、
²国立医薬品食品衛生研究所 薬理部
- A2-6 2型糖尿病時における GRK2/ β -Arrestin2 と Akt/eNOS 経路を介した血管内皮障害の関係
○田口 久美子、小林 恒雄、松本 貴之、鎌田 勝雄
星薬科大学・医薬品化学研究所・機能形態
- A2-7 病態時の BLT1(ロイコトリエン B4 受容体)を介する血管新生の増強
○小坂 康晴^{1,2}、鈴木 立紀¹、細野 加奈子¹、蔵重 千絵^{1,2}、
岡本 浩嗣²、馬嶋 正隆¹
北里大学・医学部・¹薬理学、²麻酔科学
- A2-8 NMDA 誘発緑内障モデルにおける網膜血管反応性の変化
○森 麻美、花田 真幸、坂本 謙司、中原 努、石井 邦雄
北里大学・薬学部・分子薬理学
- A2-9 β -アドレナリン受容体(β -ADR)サブタイプの薬理的な同定と交感神経の化学的除神経の影響ーラット腸間膜動脈での検討ー
○田中 芳夫¹、重松 舞衣¹、小林 由里菜¹、飯干 祐里¹、佐野 慶行¹、
粕谷 善俊²、茅野 大介¹
¹東邦大学・薬学部・薬理、²千葉大学大学院・医学研究院・
分子生体制御
- A2-10 雌性フェレットの血液凝固能に関する検討：ラットおよびビーグル犬との比較
○平井 範彦、高橋 沙綾、梶 典幸、白井 明志、伊藤 勝昭、
浅井 史敏
麻布大学・獣医学部・薬理学

<B会場> Young Investigator's Award (YIA) 対象演題、一般演題

B1-1~8 : YIA (神経系) 14時40分—16時16分

座長 伊藤 芳久 (日本大学大学院 薬学研究科 薬理学)
中木 敏夫 (帝京大学 医学部 薬理学)
成田 年 (星薬科大学 薬理学)

- B1-1 Ocular albinism-1 (OA-1) mediates *L*-DOPA-induced depressor and bradycardic responses in the nucleus tractus solitarii of rats
○廣島 幸彦¹、中村 史雄²、山下 直也²、遠藤 格¹、五島 良郎²
¹横浜市立大学・医学部・消化器腫瘍外科学、²分子神経薬理学
- B1-2 マウス脳虚血・再灌流モデルにおける Mithramycin の海馬神経細胞保護効果
○長田 暢弘、小菅 康弘、小口 紗祐梨、宮岸 寛子、石毛 久美子、伊藤 芳久
日本大学大学院・薬学研究科・薬理学
- B1-3 大規模イメージングによるグリア細胞の活動パターン解析
○宇治田 早紀子、松木 則夫、池谷 裕二
東京大学大学院・薬学系研究科・薬品作用学
- B1-4 恐怖記憶想起後の扁桃体外側核における *Arc* 転写の再活性化
○山崎 良子、松木 則夫、野村 洋
東京大学大学院・薬学系研究科・薬品作用学
- B1-5 恐怖条件づけにより恐怖関連ニューロンの応答性が変化する
○野中 綾子、松木 則夫、野村 洋
東京大学大学院・薬学系研究科・薬品作用学
- B1-6 疼痛制御機構に関する研究(第125報): 迷走神経切断による胸部および腰部脊髄後根神経節神経細胞の興奮性変化
○渡辺 理紗¹、古田 貞由¹、土井 星来¹、堀内 浩²、鈴木 勉¹、成田 年²
¹星薬科大学・薬品毒性学、²薬理学

B1-7 薬物依存の研究(第 446 報): κ オピオイド受容体作動薬 U-50,488H の
弁別刺激効果発現における ERK 経路の役割

○磯谷 香奈¹、吉澤 一巳¹、長瀬 博²、芝崎 真裕¹、佐伯 麻衣¹、
成田 道子³、今井 哲司¹、成田 年³、鈴木 勉¹

¹星薬科大学・薬品毒性学、²北里大学・生命薬化学、

³星薬科大学・薬理学

B1-8 孤発性疾患発現のエピジェネティクス機構解析のための実験手技と
プロトコール

○伊達 明利¹、成田 道子¹、今井 哲司¹、鈴木 勉²、牛島 俊和³、
成田 年¹

¹星薬科大学・薬理学、²薬品毒性学、³ 国立がん研究センター研究所・
エピゲノム解析分野

B2-1~4 : 一般演題 (神経)

16 時 30 分—17 時 10 分

座長 阿部 和穂 (武蔵野大学 薬学部 薬理学)

石井 邦雄 (北里大学 薬学部 分子薬理学)

B2-1 α シヌクレイン部分ペプチド NAC(1-35)の線維化に対するフィセチン
および類縁体の抑制効果

○鹿島 茉弥¹、赤石 樹泰¹、浅川 倫宏²、菅 敏幸²、阿部 和穂¹

¹ 武蔵野大学・薬学部・薬理学、² 静岡県立大学・薬学部・

医薬品製造化学

B2-2 NMDA 誘発緑内障モデルにおける capsaicin の網膜神経保護作用
: CGRP の関与について

○坂本 謙司、黒木 大陽、森 麻美、中原 努、石井 邦雄

北里大学・薬学部・分子薬理学

B2-3 ニューロラチリズムモデルラットの麻痺発症初期における
運動神経変性と炎症性反応

○川口 貴美乃、草間 國子

日本大学大学院・薬学研究科・生化学

B2-4 ラット線条体のメタンフェタミン誘発性神経毒性における $\alpha 1D$
アドレナリン受容体の関与

○内海 計¹、石坂 真美¹、松村 暢子¹、渡部 正彦¹、青山 晃治¹、
笹川 展幸²、中木 敏夫¹

¹ 帝京大学・医学部・薬理、² 上智大学・理工学部・情報理工

B3-1～4：一般演題（その他）

17時15分—17時55分

座長 上野 光一（千葉大学大学院 薬学研究院 高齢者薬剤学）

櫻井 裕之（杏林大学 医学部 薬理学）

- B3-1 胎盤における母体・胎児間の尿酸輸送機構
○木村 徹¹、上原 一郎²、谷垣 伸治²、岩下 光利²、安西 尚彦³、
櫻井 裕之¹
¹ 杏林大学・医学部・薬理学、² 産科婦人科学、³ 獨協医科大学・医学部・
薬理学
- B3-2 ニーマンピック病C型モデル細胞における細胞内遊離コレステロール
蓄積に対するスフィンゴ脂質の関与
○江森 俊介、中村 浩之、藤野 裕道、村山 俊彦
千葉大学大学院・薬学研究院・薬効薬理
- B3-3 大豆ペプチド経口投与による角層水分量、経表皮水分損失量および
粘弾性への影響
○徳留 嘉寛¹、鹿毛 まどか¹、坂本 麻衣²、馬場 俊充²、
橋本 フミ恵¹
¹ 城西大学・薬学部・臨床生化学、² 不二製油
- B3-4 急性および慢性掻痒モデルに対するヒスタミンH₄受容体遮断薬
の有効性
○山浦 克典、諏訪 映里子、畢 圓媛、GULIGENA Tuerdi、上野 光一
千葉大学大学院・薬学研究院・高齢者薬剤学

<C 会場> Young Investigator's Award (YIA) 対象演題、一般演題

C1-1~7: YIA (内分泌系・その他) 14時40分—16時04分

座長 鈴木 勉 (星薬科大学 薬品毒性学)

立川 英一 (東京薬科大学 薬学部 内分泌・神経薬理学)

三澤 日出巳 (慶応義塾大学 薬学部 薬理学)

- C1-1 膵β細胞インスリン分泌調節におけるI型ジアシルグリセロールキナーゼの役割
○元木 啓介、金子 雪子、石川 智久
静岡県立大学・薬学部・薬理学
- C1-2 膵臓癌由来細胞の遊走能に対する細胞外ヌクレオチドの作用
○矢部 晴香、伊藤 政明、松岡 功
高崎健康福祉大学・薬学部・薬効解析学
- C1-3 シナプス小胞トランスポーターの細胞内移行シグナル配列の探索
○神保 美紗子、三澤 日出巳、奥田 隆志
慶應義塾大学・薬学部・薬理学
- C1-4 アミオダロンのATP感受性K⁺チャネルとL型Ca²⁺チャネルに対する抑制作用は互いに相殺し合ってMIN6細胞からのインスリン分泌を増強しない
○西田 淳¹、滝沢 太一¹、松本 明郎¹、三木 隆司²、清野 進³、中谷 晴昭¹
¹千葉大学大学院・医学研究院・薬理学、²代謝生理学、
³神戸大学大学院・医学研究科・生理学・細胞生物学講座・細胞分子医学分野
- C1-5 分泌型ホスホリパーゼA₂の腸管自発性運動機能への影響と潰瘍性大腸炎モデル動物での変動解析
○野村 涼也¹、中村 浩之¹、藤野 裕道¹、堀江 俊治²、村山 俊彦¹
¹千葉大学大学院・薬学研究院・薬効薬理学、²城西国際大学・薬学部・薬理学

- C1-6 コラーゲン生成促進メカニズムとしてのヒト皮膚線維芽細胞に対する大豆ペプチド及びコラーゲンペプチドの効果
○中村 恭介¹、鹿毛 まどか¹、徳留 嘉寛¹、坂本 麻衣²、馬場 俊充²、藤堂 浩明¹、杉林 堅次¹、橋本 フミ恵¹
¹ 城西大学・薬学部・臨床生化学、² 不二製油
- C1-7 Exchange protein directly activated by cAMP (Epac)を介するヒト子宮内膜間質細胞の脱落膜化反応
○小高 佑美菜、吉江 幹浩、草間 和哉、田村 和広、沓掛 真彦、立川 英一
東京薬科大学・薬学部・内分泌 神経薬理学

C2-1～4：一般演題（細胞・幹細胞） **16時20分—17時00分**

座長 呉林 なごみ（順天堂大学 医学部 薬理学）
渡辺 康裕（防衛医科大学 薬理学）

- C2-1 一酸化窒素によるリアノジン受容体を介したCa²⁺放出機構
○山澤 徳志子¹、柿澤 昌^{1,2}、小山田 英人³、村山 尚⁴、呉林 なごみ⁴、佐藤 治⁴、櫻井 隆⁴、小口 勝司³、竹島 浩²、飯野 正光¹
¹ 東京大学大学院・医学系研究科・細胞分子薬理、² 京都大学大学院・薬学系研究科・生体分子認識、³ 昭和大学・医学部・第一薬理、⁴ 順天堂大学・医学部・薬理
- C2-2 T細胞受容体刺激によるL型中性アミノ酸トランスポーターLAT1の発現上昇
○林 啓太郎¹、遠藤 仁²、安西 尚彦¹
¹ 獨協医科大学・薬理学、² ジェイファーマ株式会社
- C2-3 エストロゲン刺激による乳癌幹細胞の増殖
○平田 尚也、林 和花、関野 祐子、諫田 泰成
国立医薬品食品衛生研究所・薬理部
- C2-4 マウス人工多能性幹細胞の増殖・分化に対するニコチン刺激の影響
○石塚 俊晶、小澤 亜也子、五嶋 葉月、渡辺 康裕
防衛医科大学・薬理学

C3-1～5：一般演題（筋細胞、線維芽細胞）

17時05分—17時55分

座長 齊藤 真也（静岡県立大学 薬学部 薬理学）

野部 浩司（昭和大学 薬学部 薬理学）

- C3-1 レパゲルマニウムの皮膚修復作用
○松本 裕子、町田 光、山根 潤一、竹内 麗理、藤井 彰
日本大学・松戸歯学部・薬理学
- C3-2 TGF- β 1 刺激による肺細胞線維化と SIP の関与
○山崎 璃沙¹、松澤 康雄²、川島 辰男²、大竹 翔¹、山浦 えりか¹、
中村 浩之¹、藤野 裕道¹、村山 俊彦¹
¹千葉大学大学院・薬学系研究院・薬効薬理、
²東邦大学・医療センター佐倉病院
- C3-3 カフェインはマウス肝星細胞の活性化を抑制する
○齊藤 真也、西山 良太、山口 桃生、石川 智久
静岡県立大学・薬学部・薬理学
- C3-4 マウスヒラメ筋における伸展刺激誘発性糖取り込みへのインテグリン/
FAK 経路の関与
○滝口 茂幸、宇田 宗晃、小原 一男、藤井 孝治、石川 智久
静岡県立大学・薬学部・薬理学
- C3-5 アディポネクチン依存的膀胱収縮応答変化へのプロテインキナーゼ C α
の関与
○野部 浩司¹、藤井 瑛子¹、根来 孝治²、中野 泰子²、本田 一男¹
¹昭和大学・薬学部・薬理学、²遺伝解析薬学